

【高等学校用】

令和7年度学校評価結果

達成度(評価)  
A:十分達成できている C:やや不十分である  
B:おおむね達成できている D:不十分である

学校名	佐賀県立有田工業高等学校 定時制
1 前年度 評価結果の概要 (簡潔に)	・欠席が気になる生徒対応として、長期的な生徒観察と根気強い指導の成果で、年間出席率は約92%となった。 ・医療機関等専門家からのアドバイスを参考に慎重な対応を心掛け、全教職員で組織的な対応を行った ・特性を持つ生徒の就職指導については、医療機関の協力を得て卒業後も適性を見ながらの就労支援を行った
2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標	国内初の陶磁器工芸学校の伝統を継承するセラミック科、デザイン科を持つ西部地区の定時制高校として、ものづくりを通して生涯学び続け、挑戦し続ける生徒を育成する。
4 本年度の重点目標	① 出席率の向上と教育活動の充実 ② あいさつ、服装、マナー指導の徹底と思いやりの心の醸成 ③ 進路保障に繋ぐ学力向上、資格取得、部活動 ④ 生徒、職員の心身の健康増進

3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
	・ものづくりに関する興味・関心を持つ生徒。 ・専門的な知識・技術を身につけるために、各学科の学びや資格取得に積極的に取り組もうとする生徒。 ・地域や社会に何かの形で貢献したいという意欲のある生徒。	・ものづくりに必要な、基礎学力と専門的な知識・技能を習得できる授業を行います。 ・学校行事・ホームルーム活動や部活動、地域との連携などによる協働活動を通して、社会人としての基本的な姿勢や思いやりの心、自律心を伸ばします。 ・生徒会活動や資格取得・コンテスト参加について、生徒の主体的、自発的な取組となるようにサポートを積極的に行います。 ・生徒それぞれが個性や長所を把握できる取組や、4年間を見通したキャリア教育で、生徒の進路意識を育み、進路実現につなげます。	・自己や他者、地域を愛し、地域から愛される生徒 ・ものづくりを通して、生涯学び続け挑戦する生徒

5 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	
				●学力の向上	○出席率の向上 ○基礎学力の向上と学習意欲の喚起	○出席率90%以上を目指す。 ○「学校評価保護者アンケート」(年2回実施)の「学力の向上」の項目の回答の平均値「3.2」以上を目指す。 ○「学習に関するアンケート」(生徒対象)の回答の平均値「3.2」以上を目指す。	・毎月行事予定表は、保護者と生徒にeメッセージで配信し、常に確認できるようにする。 ・欠席が多い生徒・保護者に対して、欠席日数・欠課時数を定期的に伝える。 ・生徒の学習意欲の向上のために、教師の指導法の改善と学力の定着を目的とした、職員相互の授業見学と公開授業を実施する。 ・生徒が落ち着いて学習できる環境をつくるために、教育相談や特別支援教育を中心として各分掌間で連携し、生徒支援体制を整える。	
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価生徒アンケートの「心の教育」の項目の平均値「3.3」以上を目指す。	・生徒の興味や課題、地域社会の特性、学校生活における重要なことを反映させた年間特別活動計画を策定する。 ・学校行事や講話等の感想文をキャリアパスポートに保管させることで、生徒自身の考えや気持ちを将来への展望に繋げる。 ・生徒生活体験発表会で発表を聞き、自他の生命尊重、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心を育む。	A	・開校記念行事では地元のケーブルテレビの企画制作課の方に地域で働くことの意味についての講話をいただき、生徒への良い刺激になった。 ・前期の振り返りのホームルームでは、キャリアパスポートのワークシートで、生徒個々の目標を再確認させ保管した。	A	・行事の感想文や、ホームルームでの進路調査、学習目標について生徒が自分で確認することで、将来への展望について考える機会を増やすことができた。 ・「学校評価生徒アンケート」の「心の教育」の項目の平均値が「3.4」だった。	教務学年
●健康・体づくり	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学校評価・保護者等アンケートにおいて、いじめに関する学校の取り組みの項目がB判定以上を目指す。	・生徒、保護者等に向け2回のアンケートを実施する。 ・日頃から生徒の状況を職員全体で共有し、生徒の変化があった場合には速やかに面談・情報共有・保護者等に連絡を行う。 ・月1回「心のチェック」を実施し、気になる生徒への早期対応を確実に行う。	A	・毎日、「生活チェック表」を担任・養護教諭が確認し、生徒の基本的な生活習慣の把握と生徒への声掛けをおこなうなど、生徒の生活習慣改善に職員が協力して取り組むことができています。	A	・生徒と保護者を対象に、いじめ、学校生活アンケートを6月と12月に実施した。いじめの認知・認知ともになかった。職員対象にいじめ問題校内研修を実施した。 ・「生活チェック表」記入(毎日)と心のチェックシート記入(月1回)を実施し、担任・養護教諭を中心に、いじめの早期発見・早期対応を心がけることができた。また、スクールカウンセラーの来校日を、日報等を用い職員・生徒へ積極的に周知し、生徒が相談しやすい環境の整備に努めることができた。	生徒指導 保健
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○「健康・体づくり」には規則正しい生活習慣が必要であることを理解できる生徒90%以上を目指す。	・毎日の「生活チェック表」を記入することで、生徒自身が自分の健康状態を知り、生活習慣の見直しと改善ができるようにする。 ・生徒と保護者等を対象に、健康意識を調査するアンケートを実施し、健康管理能力を高めるような指導を行う。	A	・毎日の「生活チェック表」を担任・養護教諭が確認し、生徒の基本的な生活習慣の把握と生徒への声掛けをおこなうなど、生徒の生活習慣改善に職員が協力して取り組むことができています。	A	・「生活チェック表」記入を通じて、生徒自身が自分の基本的な生活習慣について毎日確認することができた。また、担任・養護教諭が生徒の基本的な生活習慣を把握し、喫食率向上・改善へと働きかけることができた。	保健
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●健康に良い食事をしている生徒の割合70%以上を目指す。	・給食喫食率が低い生徒への声掛けを積極的にに行い、食の大切さを伝えるとともに給食室への入室を促す。	A	・喫食率が低い生徒への声掛けを継続して行うことができています。 ・食育講話を実施して、食と健康に関する知識について理解を深めるような指導を行うことができています。	A	・喫食率が低い生徒への声掛けを継続して行うことができています。 ・食育講話を実施して、食事のマナー、箸の使い方についてはかなりできていて、どのようなことに気をつければよいかは理解しており、このまま継続していきたい。	保健
●健康・体づくり	●「安全に関する資質・能力の育成」	○「学校評価生徒アンケート」の「5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)」の項目の回答の平均値「3.0」以上を目指す。 ○講話実施後に感想文を記入させ、知識の定着度合いを確認する。	・授業において、安全教育に基づいた5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)の指導を行う。 ・年2回の前期・後期避難訓練のときに、生徒にハザードマップを提示し、防災意識を高める。 ・防犯交通安全防止講話および薬物乱用防止講話を実施する。	A	・1回目の「学校評価生徒アンケート」の「5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)」の項目の回答の平均値は「3.5」で、目標値を超えた。	A	・防犯・交通安全講話を6月に、薬物乱用防止講話を11月に実施した。生徒の感想から、防犯・安全・薬物乱用防止への意識の向上がうかがえた。 ・年間の「学校評価生徒アンケート」の「5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)」の項目の回答の平均値は「3.4」で、目標値を上回った。	生徒指導 保健
●健康・体づくり	○生徒会活動と部活動を通じ社会性を身に付けさせる。	○学校評価生徒アンケートの「生徒会活動」の項目の平均値「3.0」以上を目指す。	・各部活動において礼儀作法指導や他者と協力して成果を得る活動を行う。 ・協調性や達成感を得る主体的な生徒会活動を実施する。	A	・第1回目学校評価アンケート「生徒会活動」項目の平均値は保護者「3.3」、生徒「3.3」、職員は「3.5」と目標値を上回った。 ・生徒が主体的に生徒会行事に取り組むことができています。	A	・第2回目学校評価アンケート「生徒会活動」項目の平均値は保護者「3.3」、生徒「3.25」、職員は「3.5」と目標値を上回った。 ・生徒会行事を協力して準備運営することで社会性を身に付けることに繋がった。	生徒会
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・週1回の定時退勤日を設定する。 ・会議資料のペーパーレス化で事前の閲覧ができるようにし、会議時間の短縮を図る。 ・職員間の意思疎通と報告・連絡・相談を徹底し、業務分担と互いに助け合う環境作りを努める。	A	・「月の時間外在校等時間」が45時間を超える職員は4月1人、5月1人、7月1人、9月2人の延べ5人。業務の効率化を推進し、平均時間も4月14時間の9分からは11時間53分へ減少できている。 ・夏季休業中に4日間、学校閉庁日を設定し、教職員が休暇を取得しやすい環境を整備した。	A	・「月の時間外在校等時間」が45時間を超える職員、「月の平均時間外在校等時間」とともに、昨年度より月人数、時間が減少し、年間を通して業務の効率化を進めることができた。 ・会議資料のペーパーレス化により、事前に閲覧でき、会議時間の短縮を図ることができた。 ・年次休暇について、半数以上の職員が年間14日以上取得ができた。	管理職
●特別支援教育の充実	○「困り感」を有する生徒をサポートする教育の充実。	○「困ったときに相談する相手が見つかるか」、「困ったことがあったときに相談することができたか。」等のアンケートを実施する。	・生徒・保護者が希望する配慮や支援について、職員間で情報共有を行ったり、生徒が相談しやすい環境を整えたりする。 ・毎週生徒連絡会を行い、配慮が必要な生徒への支援について、情報交換を行う。	A	・生徒の様子に応じて担任や関わりのある職員が面談をしたり、スクールカウンセラーの利用を勧めたりして、生徒が相談できるように努めている。 ・8月に全職員による特別支援教育研修を行い、発達障害のある生徒等への支援について理解を深めた。	A	・毎週行う生徒連絡会や特別支援教育委員会で、支援を要する生徒の経過や今後の支援について情報共有し一貫した支援を行うことができた。 ・第2回学校評価アンケート「相談しやすい環境」についての平均値は保護者「3.2」、生徒「3.2」、職員は「3.6」であった。	保健
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	
				●情報発信	○学校の魅力発信と広報活動の充実	○「自分の学校を中学生に進めることができる」生徒の割合80%以上、教職員の割合85%以上にする。	・部活動等での生徒の活躍や卒業制作展、課題研究発表会での授業の成果発表について、学校新聞やeメッセージ、学校ホームページで学校内外へ発信する。	
○地域産業との連携	●本邦生や聴講生制度の取り組みをセラミック科・デザイン科の特色も交え、セラミック科展やデザイン科展、卒業制作展等を通じ地域へ発信する。	○授業や聴講生講座終了後にアンケートを取り、地域へ作品等を発信したことへの自己評価70%達成を目指す。	【本邦生】 地域産業に貢献できる技術者育成を目指し、特色ある授業を展開して指導する。 【聴講生】 地域産業技術者の技能向上のため、卒業コースはろくろ成形の技術習得、デザインコースは幅広いデザインの知識・技能の取得を目指す。	A	・卒業コースは、常に明確な目標を持って授業に臨んでおり、各課題で提出される作品品質の高いものとなっている。 ・デザインコースは、本邦生と聴講生が同じ授業を受講し作品講評や意見交換を行うことで、互いの表現活動に大変良い影響を与えている。	A	・卒業コースは、目標を持って課題に取り組み、県内外で開催されるセラミック科展や1月の卒業制作展で作品を発表し、技術の研鑽につなげることができた。 ・デザインコースは、本邦生との合同授業により互いに刺激を受けながら知識・技術面を高めることができた。また作品講評会や作品展示を増やすことで、制作意欲や自信にも繋がった。	セラミック科 デザイン科

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり	<p>6 総合評価・次年度への展望 (簡潔に)</p> <p>・出席率や学力指標の向上に加え、自己理解を深める取組が成果を上げた。今後は主体的な学習姿勢をさらに伸ばし、行事や情報発信を通して学校の魅力向上を一層図る体制づくりを進めたい。 ・いじめ防止や安全教育の充実により安心して学校生活を送れる環境が整い、生活習慣面の指標も目標値を達成した。次年度は生徒会活動の活性化を軸に、主体性と社会性をさらに伸ばす指導を強化したい。 ・早期準備と個々に応じた支援、関係機関との連携強化により進路実現に向けた体制が充実した。次年度は情報提供と面接支援をさらに手厚くし、生徒の選択肢拡大と確かな進路決定を後押ししていく。 ・生活・心のチェック体制や相談環境の整備が機能し、基本的な生活習慣や支援体制の改善が進んだ。次年度は喫食率向上と相談体制のさらなる充実を図り、生徒の健康と安心につながる支援を強化する。 ・業務効率化の取組が進み、時間外在校等時間の減少や会議時間の短縮、年休取得の向上など、働きやすい環境づくりが着実に進展した。次年度はこれらの成果を基盤に、さらなる業務改善と職員の負担軽減を推進する。</p>
--	---